

消化管の疾病を仮に minor と major な疾患に分けるとすれば MPS と cap polyposis (cap) は minor な疾患に属するであろう。

にもかかわらず、本特集号の内容は濃く、さすが「胃と腸」の論文と感嘆させられる論文が多い。すなわち本特集号では cap と MPS の臨床像と病理組織像の差が細かく十分に解析され、両者は異なった疾患であろうと結論されている(ただし橋立、他は両者に本質的差はないとしている)。本特集号をみると、もはや cap に関する研究成果は日本の「胃と腸」グループが cap の original をだした英国の研究者を凌駕して世界のトップの地位にあると言える。

しかし、気になる点もある。臨床の論文はすべて病理診断に基盤を置いて両疾患の臨床像を解析

しているが、その病理診断が普遍的でない点である。渡辺論文をみると、標本の検鏡診断ではなく写真診断という問題はあるにしても、日本と欧米の病理診断にギャップがありすぎる。同じ日本の中でも同様である。病理学的診断に絶対的基準はないが、早期胃癌や陥凹型早期大腸癌でも同じ道をたどったように多数の症例の経験と臨床と病理のストレートな対話が正しく普遍的な疾病概念の確立に通じるであろう。その方法論の象徴が「胃と腸」のやり方である。本特集号が今後の cap と MPS の概念確立の一里塚になると信じたい。

なお、言いづらいが、本号の中野らの症例は臨床像、病理所見ともに最初から cap とすべき症例と思う。むしろ cap の進展を考える上で、貴重な症例としてとらえたい。

# 胃と腸

5月号(第37巻・第6号) 予告

発売予定

5月25日

定価(本体2,300円+税)

## 主題／十二指腸の非腫瘍性びまん性病変

|      |                                                      |         |
|------|------------------------------------------------------|---------|
| 序説   | 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変……………九州大学大学院・病態機能内科                   | 飯田 三雄   |
| 主 題  | 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変の病理……………福岡大学筑紫病院・病理                   | 岩下 明徳   |
|      | 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変の診断—非特異性                              |         |
|      | 十二指腸炎……………富山赤十字病院・消化器内科                              | 稲土 修嗣   |
|      | 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変の診断                                   |         |
|      | —潰瘍性大腸炎……………仙台赤十字病院・大腸疾患センター                         | 割田 悦子・他 |
|      | Schönlein-Henoch 紫斑病における十二指腸病変の特徴……………九州大学大学院・病態機能内科 | 江崎 幹宏・他 |
|      | 膠原病に合併する十二指腸びまん性病変—血管炎症候群を                           |         |
|      | 中心に……………仙台社会保険病院・消化器内科                               | 原 右・他   |
|      | アミロイドーシスの十二指腸病変……………済生会熊本病院消化器病センター                  | 多田 修治・他 |
|      | 非腫瘍性びまん性十二指腸病変の診断—糞線虫症の                              |         |
|      | X線、内視鏡所見を中心に……………琉球大学医学部附属病院・光学医療診療部                 | 金城 福則・他 |
|      | 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変の形態からみた                               |         |
|      | 鑑別診断……………社会保険中央総合病院・消化器科                             | 浜田 勉・他  |
| 主題症例 | 十二指腸にびまん性微細隆起病変と回腸盲腸に腸結核の所見を                         |         |
|      | 認め common variable immunodeficiency を合併したランブル        |         |
|      | 鞭毛虫症の1例……………福岡大学筑紫病院・消化器科                            | 吉田 光宏・他 |
|      | 消化管に限局した原発性 AL 型アミロイドーシスの1例                          |         |
|      | —長期経過を含めて……………九州大学大学院・病態機能内科                         | 平橋美奈子・他 |
|      | CA19-9 高値を示したランブル鞭毛虫症の1例……………新日鐵八幡記念病院・内科            | 浅野 光一・他 |

## 胃と腸 (第37巻 第5号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2002年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)(配送料116円)

2002年年々ぎめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎ (03) 3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

• JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 渡辺・阿野・永安・小松原